

世界遺産・国宝

# 姫路城 夏の特別公開

2023 8/11 (金・祝) ▶ 9/24 (日)



姫路城  
世界遺産登録  
30周年記念



ハの渡櫓

非公開エリア6棟を同時公開

東小天守



折廻り櫓



ロの渡櫓

イの渡櫓

乾小天守から

30周年記念  
復刻観覧券  
昭和9年頃の  
デザイン



※非公開エリアへの入場券になります。

時間	9:00~17:00(最終受付)
料金	大人500円・小人(小中高生)200円 別途入城料が必要 ※入城料:大人1,000円・小人300円 団体料金(30名以上) 大人800円・小人240円
受付場所	「イの渡櫓」または「折廻り櫓」

令和5年12月に世界遺産・国宝姫路城は世界遺産に登録されてから30周年を迎えます。  
白く美しい白壁から“白鷺”に例えられる姫路城は、安土桃山時代から江戸時代初期にかけての建築技術の粋を極めた「日本一の名城」と言えます。  
建築物のほとんどが国宝や重要文化財に指定されており、普段は非公開の場所も多くあります。  
今回は、兵庫デスティネーションキャンペーンの開催を記念し、普段は公開していないエリア6棟の「乾小天守」「イの渡櫓」「ロの渡櫓」「ハの渡櫓」「東小天守」「折廻り櫓」の内部を特別に公開します。6棟の同時公開は平成21(2009)年以来、14年ぶりです。



# みどころ



## 小守群 (こてんしゅぐん)

乾小守からは、格子のない火灯窓から圧巻の大守(北西面)を見ることができます。また、乾小守から東を望むと連立式天守の全容や東小守の姿、中庭の様子がよくわかります。

## 口の渡櫓 (くのわたりやぐら)

現存する渡櫓で最大級の規模を持ち、映画やドラマ等のロケ撮影場所によく選ばれる場所、壮観な渡櫓の風景をご覧ください。



## 折廻り櫓 (おれまわりやぐら)

2層2階合計5室からなり、内部には書院造の一室や姫路城では珍しい居室の狭間などをご覧ください。また、令和4年度に改修工事を終えたばかりなので、美しい外観と内部を見学できるのは本特別公開の今だけです。

## 姫路城 入城記念に

今回の御城印のデザインは、姫路城世界遺産登録30周年記念として、現在の姫路城の基礎を築き、姫路市民にもなじみ深いと思われる池田家の揚羽蝶の家紋をモチーフとして制作されました。デザインの一部は特殊印刷を施し、光の当たり具合により模様が浮かび上がる特別仕様となっています。姫路城に来城された際には是非記念にご購入ください。

## 姫路城御城印

料金: 300円  
販売所: 姫路城売店



## 期間中のイベント案内

### 書寫山圓教寺 書寫山圓教寺3大特別公開

7/1(土) ▶ 9/30(土)

966年に性空上人によって開かれた天台宗の別格本山・書寫山圓教寺。西国三十三所礼所の一つであり、約11万坪の寺域を有する広大な山上伽藍を誇り、「西の比叡山」と呼ばれています。今回は、通常非公開である四天王像が「摩尼殿」から本来安置されていた「大講堂」へ90年ぶりに移動し、釈迦三尊像とともに特別公開いたします。同時に、2006年に発見されて以来公開されていない「摩尼殿」の奥秘仏・如意輪観音像の特別開帳も行います。

開場時間 10:00~16:00 季節によって変動あり  
料金 特別拝観料500円(志納金別途要)  
定休日 会期中無休(天候により中止になる場合があります。)  
お問合せ 書寫山圓教寺 079-266-3327



写真提供: 書寫山圓教寺

### 書寫山圓教寺 チームラボ 圓教寺 認知上の存在

4/29(土) ▶ 12/3(日)

書寫山圓教寺を舞台とした本展では、世界が私達の外に独立してあるのではなく、私達とつながって、私達とともに、私達の中にあるものとして存在していることが表現されます。物質的には存在しないはずの光の形や輝きが、環境と認知の作用によって鮮烈な現象として目の前に現れる本展作品は、「存在とは何か」という普遍的な問いをめぐる思索へと私達を導くことでしょう。

開場時間 10:00~15:45(最終入場は15:30)  
料金 一般:500円、大学・高校生:200円 中学・小学生:100円  
(志納金別途要)  
定休日 会期中無休(天候により中止になる場合があります。)  
お問合せ 姫路市立美術館 079-222-2288



《我々の中にある巨大火花》  
©チームラボ

### 姫路市立美術館 チームラボ 無限の連続の中の存在

前期 7/22(土) ▶ 10/9(月・祝)  
後期 10/21(土) ▶ 1/21(日)

チームラボが追求する「超主観空間」は、現実空間と作品空間の時空の連続性を体感することで得られる世界認識を意味しています。近年は更に「生命とは何か」という主題の下、「私という存在は、心と体とそれと連続する環境により創られている」という考えを表す新作を発表しています。本展では、そうした生物と無生物との境界をも超える認識へと鑑賞者を導くチームラボの現在地点を紐解きます。

開場時間 10:00~17:00(最終入場16:30)  
料金 大人:1,500円、大学・高校生:1,100円  
中学・小学生:700円  
休館日 月曜日 ※祝日の場合は開館、翌日休館  
10/10(火) ▶ 10/20(金)、12/28(木) ▶ 1/3(水)  
お問合せ 姫路市立美術館 079-222-2288



前期展示《増殖する無量の生命》  
©チームラボ

### 姫路文学館 特別展 ぞうのエルマー絵本原画展

6/24(土) ▶ 9/3(日)

イギリスの絵本作家デビッド・マッキー(1935~2022年)の代表作「ぞうのエルマー」を中心とした原画展。1968年の発表以来、パッチワーク模様のゾウの物語は60以上の言語で翻訳され、世界中で愛されてきました。日本初公開の絵本原画も紹介します。

開場時間 10:00~17:00(入館は16:30まで)  
料金 一般700円、大学・高校生400円  
中学・小学生200円  
休館日 月曜日、7/18(火)  
※7/17(月)、8/7(月)は開館  
お問合せ 姫路文学館 079-293-8228



エルマーとちやうちや ©DavidMckee/AndersenPress

## 【ご利用案内】

区分	個人料金(30人未満)	団体料金(30人以上)	備考
入城料 大人	1,000円	800円	18歳以上の方
小人	300円	240円	小学生・中学生・高校生

開城時間 9:00~18:00(最終入場17:00)  
※小学校就学前は、無料です ※姫路城-好古園共通券 大人/1,050円 小人/360円

## 特別公開エリア観覧受付場所



## 姫路城便覧

姫路城の情報をリアルタイムにお届けしています。姫路城への旅行計画にどうぞご利用ください。

